学校番号	219

平成 31 年度　国語科

教科	国語	科目	古典Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「精選　古典Ｂ　改訂版」　（三省堂）						
副教材等	「よくわかる新選古典文法」　（東京書籍） 「新版三訂　カラー版新国語便覧」　（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・２年生での既習内容を含めた文法事項や語彙力についての知識を深め、古典の文章を正しく読解する力を身につけましょう。
・音読は古典の基本です。何度も音読することで古典を味わう感覚を身につけましょう。
・予習として本文書写や語句の意味調べ、また復習を習慣づけるなど、主体的に学習に取り組みましょう。また、提出物の期限は必ず守りましょう。
・授業を通じて入試に必要な知識を身につけましょう。

２　学習の到達目標

古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに，ものの見方，感じ方，考え方を広くし，古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:書く能力	d：読む能力	e：知識・理解
観点の趣旨	古典を読む力を進んで高めるとともに，古典についての理解や関心を深めようとしている。			まとまりのある古典を読み,古典に表れた思想や感情を捉え，自分の考えを深め，発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴などの理解を深め,知識を身に付けている。
評価方法	・行動の観察 ・記述の点検(ノート、プリント)			・行動の観察(ノート、プリント) ・定期考査 ・小テスト	・行動の観察 ・記述の点検(ノート、プリント) ・定期考査 ・小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
一学期前半	随筆	枕草子 「ありがたきもの」 「大納言殿参り給ひて」 古典文法	○			◎	○	a:内容を踏まえて筆者の考え方や当時の宮廷生活を理解しようとしている。 d:筆者の美意識や機知を読みとっている。 e：形の上で紛らわしい語を文法的に識別できている。	・行動の観察 ・記述の点検(ノート、プリント) ・行動の観察 (ノート、プリント) ・定期考査 ・小テスト
一学期後半	日記	蜻蛉日記 「うつろひたる菊」 「鷹を放つ」 紫式部日記 「和泉式部と清少納言」 古典文法	○			◎	○	a:作者の考え方や当時の結婚形態について理解し、日記の記録的性格、評論・批評的性格を理解しようとしている。 d：登場人物の人間関係や心情を読み取ることができる。 e:形のうえで紛らわしい語を文法的に識別できている。	・行動の観察 ・記述の点検(ノート、プリント) ・行動の観察 (ノート、プリント) ・定期考査 ・小テスト
二学期前半	歴史物語	大鏡 「東風吹かば」 「最後の除目」 古典文法	○			◎	○	a:登場人物の人間像と心理の推移をを読み取ろうとしている。 d:登場人物の人間関係や心情を読み取ることができる。 e:形のうえで紛らわしい語を文法的に識別できている。基本的な敬語法について理解している。	・行動の観察 ・記述の点検(ノート、プリント) ・行動の観察 (ノート、プリント) ・定期考査 ・小テスト

二学期後半	思想	孟子「何必曰利」 荀子「青取之於藍而青於藍」 韓非子「聖人不帰修古」 漢文の句法	○			◎	○	a:各論の論じ方と思想を理解しようとしている。 d:簡潔な表現や巧みな比喩に注目しながら、内容を的確に読みとっている。 e：基本的な句法・語法を理解している。	・行動の観察 ・記述の点検(ノート、プリント) ・行動の観察 (ノート、プリント) ・定期考査 ・小テスト
三学期	評論	「古今和歌集仮名序」 古典文法	○			◎	○	a:和歌に対する筆者の感じ方や考え方を理解しようとしている。 d:筆者が主張する和歌の本質と効用を的確に読みとっている。 e:和歌や歌論の文学史的事項を理解している。	・行動の観察 ・記述の点検(ノート、プリント) ・行動の観察 (ノート、プリント) ・定期考査 ・小テスト
三学期	評論	無名抄「深草の里」 古典文法	○			◎	○	a:「おもて歌」についての考え方を理解しようとしている。 d:和歌を鑑賞し、俊恵の主張を読みとっている。 e:謙譲語「給ふ」の用法について理解している。	・行動の観察 ・記述の点検(ノート、プリント) ・行動の観察 (ノート、プリント) ・定期考査 ・小テスト